

ひまねき

警固屋学園通信
第124号
令和4年10月18日
発行

音楽鑑賞会

九月九日(金)、広島大学教育学部音楽文化系コース「オペラ実習」大学院生有志の皆さんにお越しいただき、中学校の体育館で、五く九年生が、「オペラ」を鑑賞しました。自分たちの目の前でオペラを鑑賞できる機会を持てたことは、児童生徒にとって、かけがえない経験となりました。

また、今回の鑑賞会では、ステージでの表現の仕方、個々の役割の重要性など実演を交えながら説明していただき、さまざまな演技・表現の仕方などについて学ぶことができました。特に、普段話す声と、オペラの時とは発声の仕方が違うことなど、場面に応じた声の出し方についても詳しく教えていただきました。

今回学習したことを、今後予定されている学習発表会や文化祭での発表にいかしていきたいと思えます。

《表現するときのポイントを解説》



《オペラ「魔笛」より》



児童・生徒の感想より

- ◇マイクなしで体育館一杯に声が響いて驚きました。わたしは声が小さいので、まねしてみたと思います。
- ◇声を大きくしてはつきり話してもらおうと、聞く側として気持ちよかったですので、やってみようと思う。
- ◇「時を越えて」を歌うとき、声を高くして歌いたいと思った。恥ずかしがらずに歌うことが大切だと思った。
- ◇遠くにいるお客さんに伝わるように、台詞や歌詞をはつきりと言うことがポイントだと分かった。演じる人だけではなく、裏方にも重要な役割があると知ったので、見ている人が「楽しい」「すごい」と思ってもらえるような演出も考えたいと思った。

地域公開(授業参観日)

九月十六日(金)、地域公開(授業参観日)がありました。小学校では参観授業と学級懇談会、中学校では道徳を含む参観授業が二時間行われました。今年度は感染症対策を行うことで二年ぶりに保護者の方に教室内で授業を見ていただくことができました。

一学期にも参観日がありました。児童生徒はそれぞれ学年に応じて成長した姿を見せようと意欲的で、真剣に考える姿を見ていただくことができました。

小学校の学級懇談会では、PTA役員の方を中心に意見交流を行いました。児童の夏休みの過ごし方や家庭での様子を交流することができました。

《ひまわり 自立》



《6年生 国語》



《8年生 道徳》



《1年生 国語》



《7年生 理科》



《9年生 家庭科》



《編集後記》

ご意見・ご感想は、警固屋小学校・中学校にお寄せください。窓口は各教頭が担当いたします。